



Cloud Tiering Technical FAQ 』を参照してください

Cloud Manager

Ben Cammett, Tom Onacki
March 09, 2021

目次

Cloud Tiering Technical FAQ 』を参照してください.....	1
ONTAP.....	1
オブジェクトストレージ.....	2
コネクタ.....	3
ネットワーキング.....	3
権限.....	3

Cloud Tiering Technical FAQ 』を参照してください

この FAQ は、質問に対する簡単な回答を探している場合に役立ちます。

ONTAP

ONTAP に関連する質問を次に示します。

ONTAP クラスタの要件を教えてください。

コールドデータの階層化先によって異なります。以下を参照してください。

- "オンプレミスの ONTAP クラスタから Amazon S3 ヘデータを階層化する"
- "オンプレミスの ONTAP クラスタから Azure BLOB ストレージヘデータを階層化する"
- "オンプレミスの ONTAP クラスタから Google Cloud Storage ヘデータを階層化する"
- "オンプレミスの ONTAP クラスタから StorageGRID ヘデータを階層化する"

Cloud Tiering を使用すると、アクセス頻度の低いデータのレポートを作成でき

はい、Cloud Tiering を使用すると、各アグリゲートでアクセス頻度の低いデータレポートを有効にできます。この設定により、アクセス頻度の低いデータのうち、低コストのオブジェクトストレージに階層化できるデータの量を特定できます。



Cloud Tiering を使用すると、クラスタで ONTAP 9.6 以降が実行されている場合に、HDD アグリゲートに対する Inactive Data Reporting を有効にできます。

NAS ボリュームと SAN ボリュームのデータを階層化できますか。

クラウド階層化を使用すると、NAS ボリュームからパブリッククラウドに、SAN ボリュームからプライベートクラウドに、StorageGRID を使用してデータを階層化できます。

Cloud Volumes ONTAP について教えてください。

Cloud Volumes ONTAP システムを使用している場合は、クラスタダッシュボードにこれらのシステムが表示されるので、ハイブリッドクラウドインフラにおけるデータの階層化を完全に把握できます。

クラスタダッシュボードでは、オンプレミスの ONTAP クラスタと同様の階層化情報を表示できます。運用の健全性、現在の削減量、削減機会、ボリュームとアグリゲートに関する詳細などです。

Cloud Volumes ONTAP システムは、Cloud Tiering から読み取り専用です。Cloud Volumes ONTAP では、クラウド階層化からデータ階層化を設定することはできません。階層化の設定は、Cloud Manager の作業環境から同じように行います。

オブジェクトストレージ

オブジェクトストレージに関連する質問を次に示します。

サポートされているオブジェクトストレージプロバイダを教えてください。

Amazon S3 、 Azure Blob Storage 、 Google Cloud Storage 、 S3 プロトコルを使用した StorageGRID がサポートされます。

独自のバケット / コンテナを使用できますか。

はい、できます。データの階層化を設定するときに、新しいバケット / コンテナを追加するか、既存のバケット / コンテナを選択するかを選択できます。

サポートされているリージョンはどれですか。

- ["サポートされている AWS リージョン"](#)
- ["サポートされている Azure リージョン"](#)
- ["サポートされている Google Cloud リージョン"](#)

サポートされている **S3** ストレージクラスはどれですか？

Cloud Tiering は、 *Standard*、*Standard-Infrequent Access*、*1 Zone-IA*、*Intelligent Storage* クラスへのデータ階層化をサポートしています。を参照してください ["サポートされている S3 ストレージクラス"](#) 詳細：

サポートされている **Azure Blob** アクセス階層はどれですか？

Cloud Tiering は、アクセス頻度の低いデータにホットアクセス階層を自動的に使用します。

Google Cloud Storage ではどのストレージクラスがサポートされていますか。

Cloud Tiering は、 *Standard*、*Nearline*、*Coldline*、または *Archive_storage* クラスへのデータ階層化をサポートしています。を参照してください ["サポートされている Google Cloud ストレージクラス"](#) 詳細：

Cloud Tiering は、クラスタ全体に **1** つのオブジェクトストアを使用していますか、それともアグリゲートごとに **1** つ使用していますか

クラスタ全体で 1 つのオブジェクトストアを使用します。

階層化とは関係なくオブジェクトストアにポリシーを適用してデータを移動できますか。

はい。Amazon S3 または Google Cloud Storage を使用している場合、 Cloud Tiering を使用すると、Standard ストレージクラスから別のストレージクラスにデータを 30 日後に移行できます。

コネクタ

コネクタに関連する質問を次に示します。

コネクタはどこに取り付ける必要がありますか？

- データを S3 に階層化する場合は、AWS VPC またはオンプレミスにコネクタを配置できます。
- データを BLOB ストレージに階層化する場合は、コネクタが Azure VNet 内に存在している必要があります。
- データを Google Cloud Storage に階層化する場合は、Google Cloud Platform VPC 内に Connector を配置する必要があります。
- データを StorageGRID に階層化する場合は、コネクタをオンプレミスの Linux ホストに配置する必要があります。

ネットワーキング

ネットワークに関連する質問を次に示します。

ネットワーク要件

- ONTAP クラスタが、オブジェクトストレージプロバイダへのポート 443 経由の HTTPS 接続を開始します。

ONTAP は、オブジェクトストレージとの間でデータの読み取りと書き込みを行います。オブジェクトストレージが開始されることはなく、応答するだけです。

- StorageGRID の場合、ONTAP クラスタは、ユーザ指定のポートから StorageGRID への HTTPS 接続を開始します（このポートは階層化のセットアップ時に設定可能です）。
- コネクタには、ポート 443 経由での ONTAP クラスタへのアウトバウンド HTTPS 接続、オブジェクトストア、およびクラウド階層化サービスが必要です。

詳細については、以下を参照してください。

- ["オンプレミスの ONTAP クラスタから Amazon S3 ヘデータを階層化する"](#)
- ["オンプレミスの ONTAP クラスタから Azure BLOB ストレージヘデータを階層化する"](#)
- ["オンプレミスの ONTAP クラスタから Google Cloud Storage ヘデータを階層化する"](#)
- ["オンプレミスの ONTAP クラスタから StorageGRID ヘデータを階層化する"](#)

権限

権限に関連する質問を次に示します。

AWS で必要な権限

権限が必要です ["をクリックして S3 バケットを管理します"](#)。

Azure で必要な権限

Cloud Manager に提供する必要がある権限以外で追加の権限は必要ありません。

Google Cloud Platform に必要な権限は何ですか。

ストレージ管理者の権限は、ストレージアクセスキーを含むサービスアカウントに必要です。

StorageGRID に必要な権限

"S3 権限が必要です"。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.